

経営比較分析表（令和6年度決算）

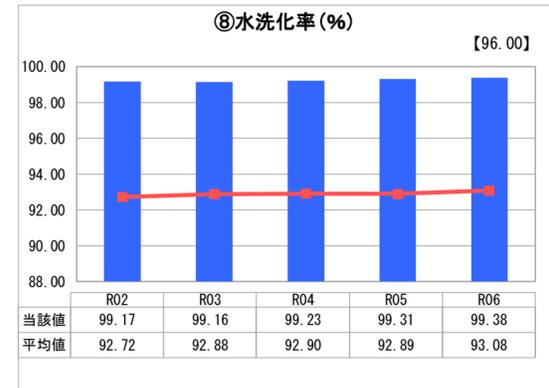
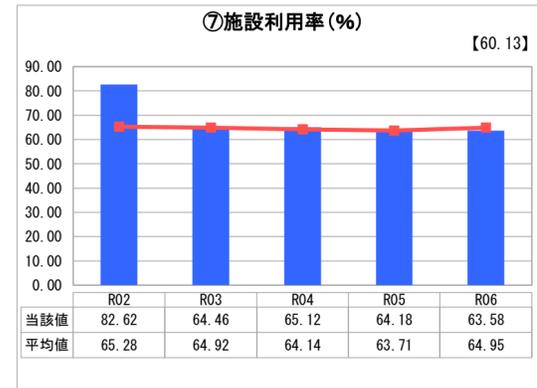
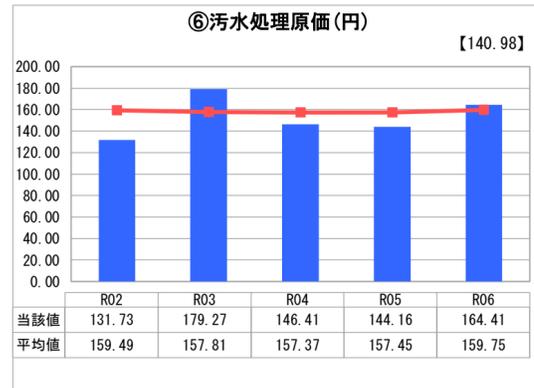
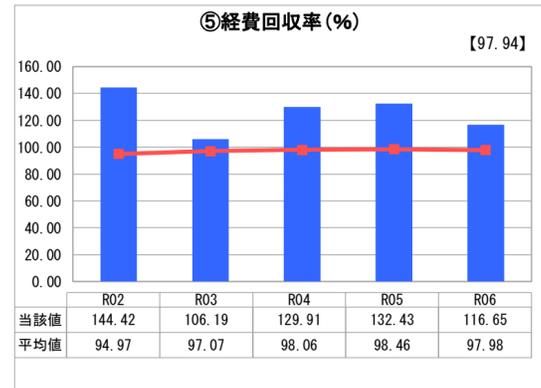
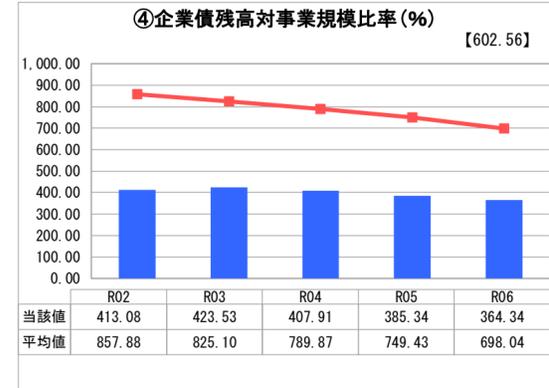
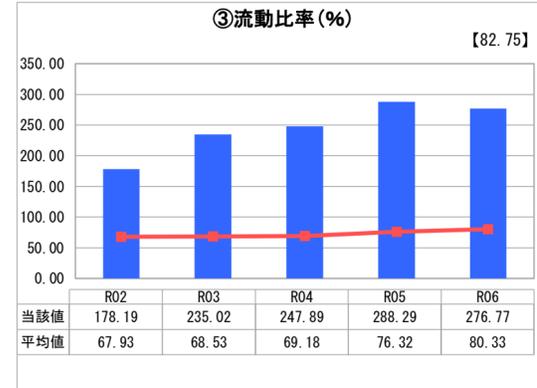
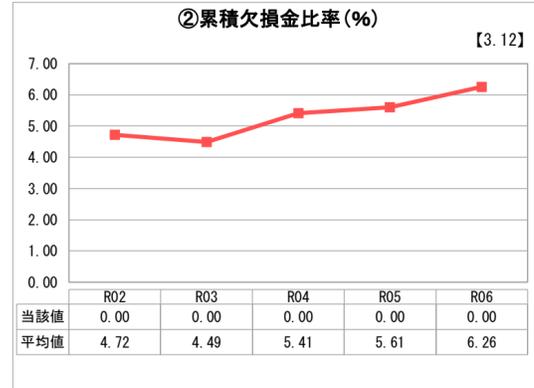
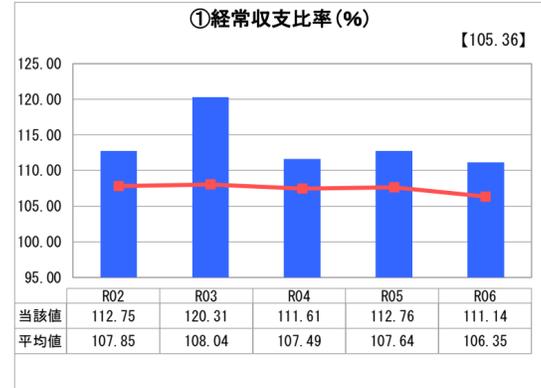
北海道 岩見沢市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	81.42	88.86	58.93	3,477

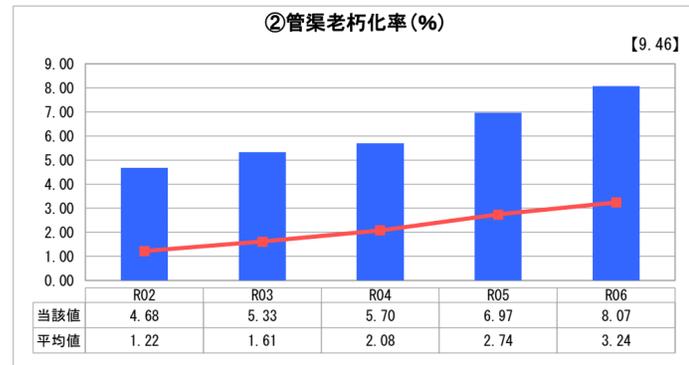
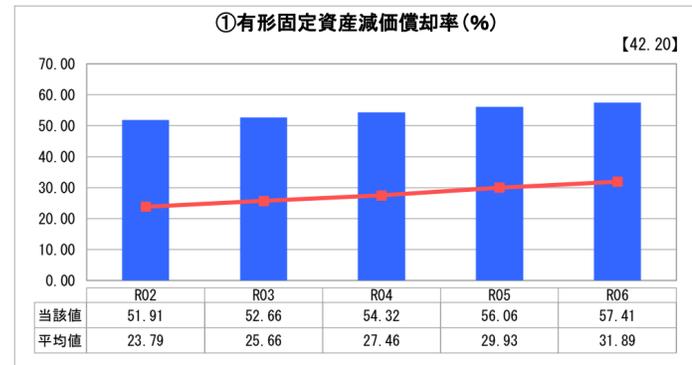
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,204	481.02	154.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
65,373	23.64	2,765.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、類似団体平均を上回るとともに、100%以上となっていることから、収支は健全な水準にあります。
- ② 累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないため0%となり、健全な状態にあります。
- ③ 流動比率は、類似団体平均を上回るとともに、100%以上となっていることから、短期債務に対する支払い能力には問題ないものと考えられます。また、流動負債の減少により、近年、上昇傾向にあります。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を下回っています。
- ⑤ 経費回収率は、類似団体平均を上回るとともに、100%以上となっていることから、経営に必要な経費を使用料で賄うことができていると考えられます。
- ⑥ 汚水処理原価は、計画修繕に伴う汚水処理費の増加により、類似団体平均を上回っております。
- ⑦ 施設利用率は、類似団体平均を若干下回っていますが、処理場の規模は過大にはなっていないと考えられます。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均を上回り、同水準で推移しています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を上回り、施設の老朽化が進んでいます。
- ② 管渠老朽化率は、類似団体平均を上回り、耐用年数を経過した管渠が多くなっています。
- ③ 管渠改善率は、平成30年度より処理場等の更新を優先して進めているため、数値は0%となっています。

全体総括

現在のところ、健全かつ安定的な経営を行っているといえますが、人口減少等による使用料収入の減少が見込まれる中で、老朽化が進む施設の更新を進めていく必要があり、経営の健全性の確保が必要となります。

そのため、岩見沢市下水道事業経営戦略に基づいて、国の交付金事業であるストックマネジメント支援制度を活用し、老朽化した下水道施設のダウンサイジングを図りながら、改築・更新を効率的に進めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。